県ジュニア あかふじ米 軟式野球 阪神大会

長尾南が初優勝

池尻、多田東と県決勝大会へ

あかふじ米第二十一回兵庫県ジュニア軟式野球選手権大会阪神ブロック大会（神戸新聞社、県軟式野球連盟主催）の最終日は三十一日、西宮市の浜甲子園運動公園C球場で三位決定戦と決勝戦の二試合を行った。長尾南レッドホークス（宝塚）が、主力が欠場した池尻ラッキーズ（伊丹）を15―0で破り、初優勝を果たした。（金受革、山下智寛）

決勝は、準決勝をコールド勝ちし勢いに乗る長尾南レッドホークスが、修学旅行で主力の六年生を欠いた池尻ラッキーズを投打で圧倒。初回、四球や相手エラーで出塁すると、ランニングホームランなどで一挙に十一点を奪い、勝負を決めた。池尻ラッキーズは三回以降、投手が奮闘。攻撃では盗塁で得点圏に走者を進めたが、打線がつながらなかった。

三位決定戦は、多田東少年野球クラブ（川西）と大東浜イーグルス（芦屋）が激突。一点を争う好ゲームは、大東浜イーグルスの猛追を振り切った多田東少年野球クラブが6―5で勝った。上位三チームは、七月末から神戸市のスカイマークスタジアムなどで開かれる決勝大会に出場する。

▽決勝

長尾南レッドホークス（宝塚）	1	1	4	0	0	0	0	15
池尻ラッキーズ（伊丹）	0	0	0	0	0	0	0	0

（5回コールド）

バッテリー　金岡、伊波―村上、川原（長）小林、山里、福井―太田、小林（池）

▽本塁打　金岡（長）

▽三位決定戦

多田東少年野球クラブ（川西）	2	0	0	0	4	0	0	6
大東浜イーグルス（芦屋）	0	0	0	2	1	0	2	5

バッテリー　谷―川嶋（多）同前―仲村（大）

▽本塁打　浦山（多）▽三塁打　西村（多）▽二塁打　谷（多）鈴木（大）

圧勝も細部に課題　長尾南

鋭く飛んだ打球を三塁手の久保克騎君（二）＝長尾南小6年＝が跳び上がってキャッチ。その瞬間、長尾南レッドホークスの初優勝が決まった。ナインはベンチに駆け寄り喜びを分かち合った。

初回から、制球に苦しむ相手投手の立ち上がりを攻め、連続四球とエラーに長短打を絡め、得点を重ねた。打者一巡し、三番の金岡洋平君（二）＝同＝が二打席目に放った打球は、ライトの頭上を越え、走者一掃のランニングホームランに。十一得点で試合の主導権を握った。

しかし、高細則行監督

帽子を投げて優勝を喜ぶ長尾南レッドホークスの選手＝いずれも西宮市枝川町、浜甲子園運動公園C球場